

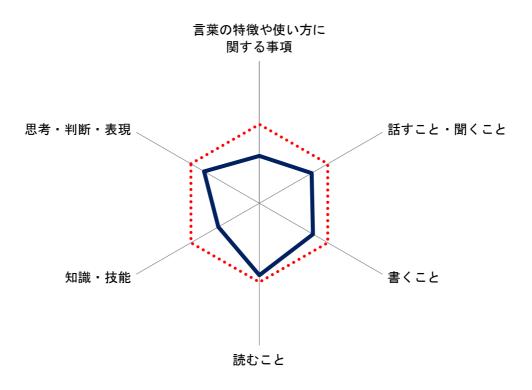
令和7年度 全国学力・学習状況調査 (各教科観点別等の状況) 結果

鬼北町

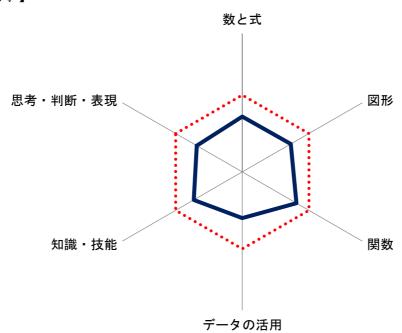
○ 教科に関する調査(全国の平均正答率との差)

 【国語】
 —— 町平均

 …… 全国平均



【数学】



中学校

令和7年度 全国学力・学習状況調査 (各教科観点別等の状況) 結果

鬼北町

○ 教科に関する調査(全国の平均正答率との差)

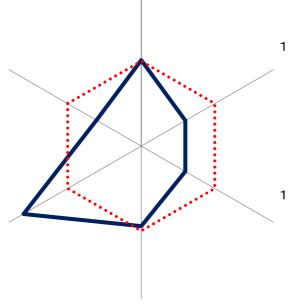
【理科】

※全ての生徒が解答した共通公開問題(6問)について、問題ごとに 全国の平均正答率と県や市町の平均正答率との差を比較したもの 町平均全国平均

1 (1) 電気とそのエネルギー (知・技、選択)

1 (6) 身の回りの物質と その性質 (思・判・表、記述)

> 1 (5)原子・分子 (知・技、短答)



1 (2) 身の回りの物質と その性質 (思・判・表、記述)

1 (3) 身近な地形や地層、 岩石の観察 (思・判・表、選択)

1 (4) 生命を維持する働き (知・技、選択)

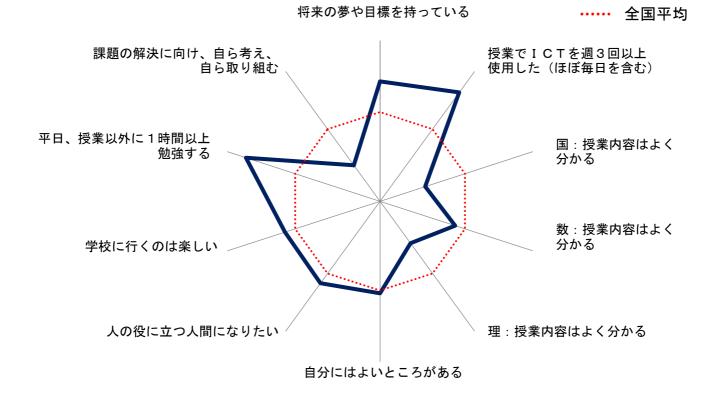


令和7年度 全国学力・学習状況調査 (学習や生活の状況) 結果

鬼北町

一町平均

○ 生徒質問調査(全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、理科の公開問題1 (5)の基礎的・基本的な理解を問う問題は全国平均を大きく上回っているものの、国語と数学のほとんどの項目、理科の公開問題の多くが全国平均を大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着とその活用に課題が見られる。今後は、全国平均との差が大きい項目を中心に詳細な分析を行うとともに、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続することや、知識及び技能の確実な定着と、それを基盤とした思考力、判断力、表現力等の向上を相互に関連付けた授業づくりにより、学びの質を高める取組が望まれる。

生徒質問調査では、「将来の夢や目標を持っている」「平日、授業以外に1時間以上勉強する」「授業でICTを週3回以上使用した」の項目が全国平均を大きく上回っており、キャリア教育や家庭学習の充実を図る取組の成果がうかがえる。一方、「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」、国語と理科の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題が見られる。今後は、生徒が他者と協働し、自ら学びを調整しながら主体的に問題解決に取り組む授業改善をより一層推進することが望まれる。